

情報学部KDIXにおける 学生の中央図書館活用に向けた取り組み

情報学部図書広報委員 准教授 森 山 真 光
准教授 谷 口 義 明
講 師 水 谷 后 宏

情報学部（通称 KDIX）は、新たな情報価値や情報サービスの創出を担う技術者を育成することを目的として、令和4年4月に本校15番目の学部として新たに設置された。入学定員は330人（収容定員1320人）、教員は36人であり、知能システムコースとサイバーセキュリティコースと実世界コンピューティングコースの3つのコースで構成されている。図1にKDIXの外観を示す。KDIXはEキャンパスE館にある。1階には多様な授業形態（オンデマンド授業など）に対し自由に利用できるON DEMAND SALONや、esports等の多様なイベントが開催可能な交流空間であるesports Arenaがある。1階から2階の間には研究成果・教育内容の展示や実験を行うことができるデジタルと実空間の創出スペースであるi-COREがある。2階と3階は研究エリアとなっている。図2に3階の研究エリアを示す。2階と3階ともに研究室間の垣根が取り払

われた一体空間となっている。研究エリアでは、ゼミやディスカッション、合同研究などのコミュニケーションが生まれる空間となることが期待されている。

表1に令和4年4月から6月22日までのKDIX所属学生が複数回借りた書籍のリストを、図3に同期間のKDIX所属学生の中央図書館の図書の貸出状況を示す。これらは中央図書館よりデータを提供して頂き集計したものである。KDIX所属学生が複数借りた図書はプログラム関連の図書が多い。また最も多く借りた回数は4回で、1年生の演習で用いられているプログラム言語Javaの入門書であった。図3よりKDIX所属学生は入学から2ヶ月で139件の図書を借りていることが分かる。入学定員の330人を考えるとKDIX所属学生が中央図書館を十分に活用しているとは言い難い。



図1 情報学部（通称 KDIX）の外観



図2 情報学部（通称 KDIX）の3階の研究エリア

貸出回数	書籍情報
4	スッキリわかる Java 入門／中山清喬, 国本大悟著. - 第3版 -. インプレス, 2019.11. - 765p ; 21cm.
2	IoT ビジネスモデル革命／小林啓倫著. - 朝日新聞出版, 2015.12. - 254p ; 挿図 ; 19cm.
2	実践 SQL 教科書／マルチメディア通信研究会編. - アスキー, 1996.6. - 302p ; 26cm. - (ポイント図解式).
2	良いコードを書く技術：読みやすく保守しやすいプログラミング作法／縣俊貴著. - 技術評論社, 2011.5. - xviii, 221p ; 21cm. - (Web+DB press プラスシリーズ).
2	C の絵本：C 言語が好きになる新しい9つの扉／アंक著. - 第2版. - 翔泳社, 2016.12. - xii, 195p ; 23cm.
2	JavaScript Primer：迷わないための入門書／azu, Suguru Inatomi 著. - ドワンゴ, - xx, 458p ; 24cm.
2	スッキリわかる Java 入門／中山清喬, 国本大悟著；[入門編], 実践編. - 第2版. - インプレス, 2014.8-2014.9. - 2冊 ; 21cm.
2	きちんとわかる！ JavaScript とことん入門／大津真著. - 技術評論社, 2017.6. - 351p ; 23cm.
2	Python 実践入門：言語の力を引き出し、開発効率を高める／陶山嶺著. - 技術評論社, 2020.2. - xviii, 349p ; 挿図 ; 21cm. - (Web+DB Press プラスシリーズ).
2	コンピュータ基礎／田中敬一著. - 改訂版. - 近畿大学通信教育部, 1996.3. - 280p ; 26cm.
2	情報革命の世界史と図書館：粘土板文書庫から「見えざる図書館」の出現へ／山口広文著. - 樹村房, 2019.7. - 402p ; 挿図 ; 20cm.
2	定本想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行／ベネディクト・アンダーソン著；白石隆, 白石さや訳. - 書籍工房早山. - 386, xp ; 20cm. - (社会科学の冒険；2-4).

表1 令和4年4月から6月22日までに KDIX 所属学生が中央図書館で複数回借りた書籍

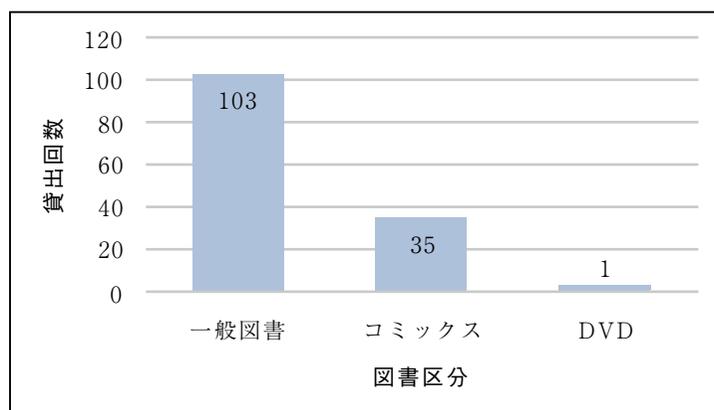


図3 令和4年4月から6月22日までの KDIX 所属学生の中央図書館の図書貸出状況

そこで、KDIX 図書広報委員会として学生の中央図書館活用に向けた取り組みとして次のような施策を検討している。

1. 1年次基礎ゼミにおける「図書館ガイダンス」の実施
2. 研究室配属以降にゼミ単位で「図書館オンデマンド講習会」の実施
3. 電子体図書の購入

4. KDIX 内に中央図書館の分置場所を設置する準備

1年次基礎ゼミにおける図書館ガイダンスは令和4年5月10日と17日に2グループ分けて実施した。表1と図3のKDIX 所属学生の中央図書館の利用状況は6月22日時点の集計なので、図書館ガイダンスから約1ヶ月が経過した状況となっている。ガイダンス実施後

に中央図書館で図書を借りていない学生が半数以上存在する。今後は基礎ゼミで図書を借りることを薦めるなど改善を要する。

KDIX では2年次に3つのコースに配属されコースごとにゼミを実施する。また3年次に研究室に配属され研究室ごとにゼミを実施する。コースごとのゼミもしくは研究室ごとのゼミで図書館オンデマンド講習会を実施し、国内や海外の理系学術論文等の文献の探し方を指導してもらう予定である。

KDIX では新生に推奨ノートパソコンを指定して入学次に購入を薦めている。そのため学生全員が電子ジャーナルや電子ブックを閲覧する環境が整っている。KDIX 所属学生が中央図書館の図書に触れやすくするために電子体の図書の購入を積極的に進めている。

KDIX 図書広報委員会では、KDIX 内に中央図書館の分置場所を設置する準備を進めている。これはKDIX 所属学生が中央図書館の冊子体の図書にも触れやすくすることを目的としている。図4に中央図書館の分置場所を予定しているKDIX 研究エリア2階部分を示す。現在、貸出方法や図書の管理方法などを検討している。

情報学部 KDIX における学生の中央図書館の利用状況及び図書広報委員会の中図書館活用への施策について述べた。KDIX 所属学生の中央図書館の利用は未だ十分とはいえない。今後も中央図書館とデータの共有や利用ガイダンスを継続していくことで改善を進めていく。



図4 中央図書館の分置場所を予定している
KDIX 研究エリア2階部分